心のバリアフリー教育の推進

＜ 今年度の取組等紹介　Vol.11 ＞

～各学校の実践紹介～

優れた成果のあった学校を年度末に選定し、「グッドプラクティス」として顕彰します。

県立四街道北高等学校

心のバリアフリー教育地域拠点校

授業でボッチャ競技を体験

手話サークルの活動内容を発表

共生社会の学びを深める体験・交流

○体育の授業（全校）でボッチャの競技体験
（昨年はシッティングバレーボールの競技体験）
○道徳の時間で、県教育委員会作成の道徳教材「青春のホイール」を活用し、パラアスリートによる講演を実施
○校内の手話サークル（有志）の活動において、近隣の特別支援学校と交流。高大連携大学等で活動内容についての発表を実施

［生徒の感想］
- パラスポーツを通じて、地域やさまざまな人と交流ができると思った。
- 実際に教材のモデルとなったパラアスリートから話が聞けたので良かった。
- 手話で、聾学校と交流ができて良かった。

県立大原高等学校

心のバリアフリー教育地域拠点校

近隣の学校との交流・共同学習

○福祉コースで学ぶ生徒が授業内容等を計画して、小中学校で「福祉」をテーマにした出前授業を実施
○特別支援学校の生徒と農業系列で学ぶ生徒が、栽培した作物の収穫体験を通じた交流および共同学習を実施

［生徒の感想］
- 小学生の子供たちが手話を積極的に学ぼうとしていたことに驚いた。
- 出前授業では事前練習とは違い、言葉選びや表現の仕方、分かりやすく伝える方法など、コミュニケーションをとる難しさを実感した。
- 特別支援学校の生徒との交流は、収穫体験に積極的に取り組んでくれたので楽しく過ごせた。

小学校への出前授業

特別支援学校の生徒と一緒に収穫体験

「グッドプラクティス」の顕彰とは

心のバリアフリー教育の取組において、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる学校を「グッドプラクティス」として県教育委員会教育長が顕彰し、賞状および記念品を授与します。
ご応募をお待ちしています。
※令和４年５月１２日付け教政第７４号【心のバリアフリー教育グッドプラクティスへの応募について（依頼）】参照

お問い合わせ先　企画管理部教育政策課　電話０４３－２２３－４１７７